

### (3)令和3年度入学生

教科	科目	学年	第1学年	第2学年			第3学年		
		標準単位数	参考 単位数	進学(文)	進学(理)	キャリア	進学(文)	進学(理)	キャリア
				単位数			単位数		
国語	国語総合	4	4						
	国語表現	2					②		
	現代文B	4		2		2	2		2
	古典B	4		②			②		
地理歴史	世界史B	4		4	4	4			
	日本史A	2					②		
	日本史B	4	4						
	地理B	4		②		2	②		2
公民	現代社会	2	2						
	政治・経済	2					2		2
数学	数学Ⅰ	3	3						
	数学Ⅱ	4			2			2	
	数学A	2			2				
	数学B	2						2	
理科	物理基礎	2		2	2	2			
	物理	4						④	
	化学基礎	2		2	2	2			
	化学	4						④	
	生物基礎	2	2						
保健体育	体育	8	2	4	4	4	2	2	2
	保健	2	2						
芸術	音楽Ⅰ	2		②	②	②			
	音楽Ⅱ	2					②	②	②
	美術Ⅰ	2		②	②	②			
	美術Ⅱ	2					②	②	②
	書道Ⅰ	2		②	②	②			
	書道Ⅱ	2					②	②	②
外国語	コミュニケーション英語基礎	2	2						
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3						
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		4	4	4			
	コミュニケーション英語Ⅲ	4					4	4	4
	英語会話	2		2	2	2			
英語演習*	2					2	2	2	
家庭	家庭基礎	2	2						
情報	社会と情報	2		2	2	2			
単位小計		70	26	26	26	26	18	18	16
総合的な探究の時間		4~6	2	2	2	2			2
小計		74	28	28	28	28	18	18	18
特別活動	ホームルーム	3	1	1	1	1	1	1	1
合計		77	29	29	29	29	19	19	19

\*学校設定科目

(注)

・武道は2科目(柔道・剣道)より1科目を選択し、継続履修する。

○数字は教育課程での必修選択科目

・芸術は3科目より1科目を選択し、継続履修する。

・古典B・地理Bより1科目を選択し、継続履修する。

# 令和5年度高等学校定時制課程使用教科書

教科	科目	出版社	教科書名	学年
国語	現代の国語	数研	高等学校 現代の国語	1年
	言語文化	数研	高等学校 言語文化	1年
		第一	高等学校 言語文化	2年基礎
	論理国語	東書	精選 論理国語	2年
	文学国語	東書	文学国語	選択2年文
	現代文B	三省堂	明解現代文B 改訂版	3年文
	国語表現	第一	高等学校 国語表現	選択3年文
	古典B	大修館	新古典B 改訂版	選択 3年文
地理歴史	地理総合	帝国	高等学校 新地理総合7	1年
	地理探究	東書	地理探究	選択2年文
	地理B	東書	地理B	選択3年文
	歴史総合	山川	歴史総合 近代から現代へ	1・2年
	日本史A	実教	高校日本史A 新訂版	選択3年文
公民	政治・経済	第一	高等学校 政治・経済	選択2年文
		第一	最新政治・経済 新訂版	3年文
数学	数学Ⅰ	啓林館	新編数学Ⅰ	1年
		数研	新 高校の数学Ⅰ	2年基礎
	数学Ⅱ	啓林館	数学Ⅱ	選択2年
		東書	数学Ⅱ Standard	3年理
	数学A	啓林館	新編数学A	1年・選択2年
	数学B	啓林館	数学B	2年理
東書		数学B Standard	3年理	
理科	物理基礎	啓林館	高等学校 物理基礎	2年理
	化学基礎	東書	化学基礎	2年理
	生物基礎	東書	生物基礎	1年
	化学	実教	新版化学 新訂版	選択3年理
	生物	啓林館	生物 改訂版	
	科学と人間生活	東書	科学と人間生活	2年文・基礎
保健体育	保健体育	大修館	現代高等保健体育	1・2年
芸術	音楽Ⅱ	教芸	MOUSA 2	選択3年
	美術Ⅱ	光村	美術 2	
	書道Ⅱ	東書	書道Ⅱ	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	啓林館	LANDMARK English CommunicationⅠ	1年
	英語コミュニケーションⅡ	数研	COMET English CommunicationⅡ	2年
	コミュニケーション英語Ⅲ	東書	All Aboard! English CommunicationⅢ	3年
	論理・表現Ⅰ	啓林館	Vision Quest English Logic and ExpressionⅠ Standard	1年
		数研	BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅠ	2年
	論理・表現Ⅱ	数研	BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅡ	選択2年
家庭	家庭基礎	実教	家庭基礎 気づく力 築く未来	1年
	家庭総合	東書	家庭総合 自立・共生・創造	2年基礎
情報	情報Ⅰ	実教	図説 情報Ⅰ	2年

教科	国語	科目	現代文B	授業 時数		週2時間		教材	改訂版 明解現代文B 三省堂	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 定時制課程 3年1組 (文系 共通)										
時期	項目		到達目標								
前期	4月～6月	●【小説】『山椒魚』井伏鱒二	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉じ込められた山椒魚、外の動物との交流による心情の変化を読み味わう。</li> <li>・小説の構成を明らかにすると共に、優れた表現・文体を捉える。</li> </ul>								
	6月～7月	●【評論】『ホンモノのおカネの作り方』岩井克人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホンモノ」というキーワードを手掛かりにして、お金とは何かを捉える。</li> <li>・具体例を明らかにしながら、構成にしたがって論理を捉える。</li> </ul>								
	第一回 定期試験										
夏休み											
前期	9月	●【評論】『「自由」のはき違え』鷲田清一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちにあってあるべき「自由」について考えを深める。</li> <li>・言葉の定義を確かにして文脈を読み取る。</li> </ul>								
後期	10月～12月	●【小説】『山月記』中島敦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の生き方や人間の運命について考えを深める。</li> <li>・漢文調の文章や漢詩の知識を確認し、表現力や内容を味わうと共に、登場人物の言動から人物像を明らかにし、主題を考える。</li> </ul>								
		○防災について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○危機回避や災害時の対応について</li> </ul>								
	第二回 定期試験										
冬休み											
備考	<p style="text-align: center;">★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合があります ★</p> <p style="text-align: center;">※記載作品中や用意したテキストを基に、漢字の読み取り・書き取りの小テストを行う。</p> <p>【第一回 定期試験範囲】 『山椒魚』／『ホンモノのおカネの作り方』</p> <p>【第二回 定期試験範囲】 『「自由」のはき違え』／『山月記』</p>										

教科	国語	科目	古典B	授業 時数	週2時間	教材	改訂版 新編古典B 大修館書店	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 定時制課程 3年1組 (文系 進学)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4～7月	『枕草子』中納言参りたまひて ・文法(敬語表現を中心に) ・文学史(随筆)  『大鏡』競べ弓 ・文学史(歴史物語)  『先従隗始』 ・故事成語  ◎防災について  ※第一回定期試験			【年間での学習到達目標】 今まで学習してきた古文と漢文を読む能力をさらに養うとともに、ものの見方・感じ方・考え方を広くする。また、古典と現代との繋がりを意識することによって、今の生活や人生を深めるような感性を育てる。  ・清少納言の鋭い感性や観察眼を読み味わう。 ・時代背景や平安貴族の文化・風俗を学び、敬語表現に注意しながら文法の基本を押さえた読解力を強化する。  ・歴史上の人物の心情や人間像を読み取る。 ・歴史物語の語り手や構造の特色を理解する。 ・敬語の用法に注意して、知識を読解に生かす。  ・漢文訓読の知識を確実なものとする。 ・登場する人物像を的確に押さえ、本文の内容を把握する。 ・論理の展開(説得の仕方)を理解する。 ◎故事成語や古典との繋がりからも、防災について考えて意識を高まる。				
夏休み									
前期 後期	9月～12月	『蜻蛉日記』町の小路の女 ・文学史(日記)  『源氏物語』若紫 ・文学史(歌物語)  『桃夭』『飲酒』 ・漢詩  ※第二回定期試験			・文学史的な位置づけを理解する。 ・日記文学としての特色について理解する。 ・表現上の特色や内容を理解する。 ・登場人物や歴史的背景の認識を深める。 ・和歌に込められた心情について考える。  ・人間関係を整理し、平安時代の結婚形態・慣習について理解する。 ・重要な語句や指示語の内容を理解し、正確に読解する。 ・少女や尼君の描かれ方に注意し、光源氏が若紫に心惹かれて行く様子や理由を読み取る。  ・古代歌謡の素朴さを味わい、できるだけ忠実に解釈する。 ・近体詩に対する古体詩の形式に関する知識を学ぶ。				
冬休み									
備考	★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合があります ★  第一回定期試験                      ・『枕草子』／『大鏡』／『先従隗始』  第二回定期試験                      ・『蜻蛉日記』／『源氏物語』／『桃夭』『飲酒』  ※入試対策として文法・古典常識・単語・漢文基礎・文学史の小テスト等を実施する。								

教科	国語	科目	国語表現	授業 時数	週2時間	教材	改訂版 国語表現 教育出版	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 定時制課程 3年1組 (文系 進学)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニケーションのために ジェスチャーゲーム 質問して当てよう</li> <li>●文章表現の基礎 表記の仕方 送り仮名 漢字と仮名</li> <li>●語句の用法と文の区切り</li> <li>●誤解されない文章を書く</li> <li>●小論文</li> <li>●防災について</li> </ul> <p style="text-align: center;">第一回 定期試験&lt;課題提出&gt;</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●効果的な身振り、文章を考える。</li> <li>●相手にわかるように説明する。</li> <li>●ステップ① 表記の仕方 ステップ② 語句の用法と区切り ステップ③ 文章のリフォーム ステップ④ わかりやすい説明</li> <li>●ズームアップ① レトリックの工夫</li> <li>●日本語の表記の仕方を理解し、正しく文章を書けるようにする。</li> <li>●現代仮名遣いや送り仮名についての知識を身につける。</li> <li>●表現技巧の理解をする。</li> <li>●適切な文章を書くために、語句の使い方や区切り方を正しく理解する。</li> <li>●ステップ① 意見を論理的に述べる ・具体的なトレーニングを通して意見と根拠を短文で書く。 ・与えられた論題から適切な問いを見つける方法を学ぶ。 ステップ② 異論は反論想定した意見提示の方法として紙上におけるディベートを行い、防御力と説得力のある論理展開の仕方を学ぶ。 ・セルフディベートを行い、異論や反論を想定し、それらに対する批判的な検討を経た意見提示をしようとする。 ステップ③ 現代用語の理解</li> <li>●防災についての理解を深めて意識を高めるような防災をテーマとした小論文を書けるようにする。</li> </ul>				
夏 休 み									
前期	9月	●面接——社会との接点			<ul style="list-style-type: none"> <li>●ステップ① 自分を知る ・自己を知り、場面を判断し、相手に配慮して、自分の意見を述べるという面接の学習を通して社会への参加能力を育てる。</li> <li>・実際の面接試験に備えた立ち振るまいやマナー、流れを身につける。</li> </ul>				
後期	10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小論文Ⅱ</li> <li>●プレゼンテーションの方法</li> </ul> <p style="text-align: center;">第二回 定期試験&lt;課題提出&gt;</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●ステップ① 要約の方法 ・文章を要約する際の基本的な観点を理解し、実際に要約文を書くトレーニングを通して、的確な読解力と適切な表現力を身につける。</li> <li>ステップ② 課題文から問いをみつける ・設問の要求を的確に読み取ることや、課題文の要約、引用の仕方などを習熟する。</li> <li>ステップ③ 課題文型小論文の実際 ・課題文型小論文を実際を書く。</li> <li>●各自の進路先に合わせた志望動機など、実際の進路の書類作成に繋げる文章を作成し、推敲する。</li> <li>●聞き手の理解、納得、共感を得るために身体や道具を利用して、発表の内容や方法に積極的な工夫をして、コミュニケーションの技術を総合的に活用する力をつける。</li> </ul>				
冬 休 み									
備 考	<p style="text-align: center;">★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合があります ★</p> <p style="text-align: center;">※定期試験は行わずに、第一回と第二回の定期試験時期に各課題を提出する。</p> <p>【第一回 課題】 防災をテーマとした小論文を書いて提出する。</p> <p>【第二回 課題】 各自の進路先となる各種学校への志望動機を書いて提出する。</p>								

教科	地理・歴史	科目	地理B	授業 時数	週2時間	教材	地理B 東京書籍	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組選択								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	◆さまざまな地図と地理的技能 ・地理情報の表現方法	地球儀・各種地図を活用し、現代の世界像をとらえるための地理的技能を身に着ける。						
	5月								
前期	6月	◆現代世界の系統地理的考察 ・生活文化・民族・宗教 ・人口・都市・村落	住居・食事・言語・宗教などの文化について世界的な視野で考え、規則性をとらえるの視点を持つてるようにする。 * 自然環境と生活との防災を考える。						
	7月								
	<b>第1回定期試験</b>								
夏 休 み									
前期	9月	◆現代世界の地誌的考察 ・東アジア	中国の改革開放と経済の急成長から生じている農業・工業・生活への影響。韓国の経済成長と文化・人々の生活を知る。						
後 期	10月	・東南アジア  ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ	東南アジアの多様な文化・生活を知り、ASEANの政治と経済の課題を考察する。 アングロアメリカの多民族・多文化社会の変容(産業・歴史・経済・文化)を知る。						
	11月								
	12月								
	<b>第2回定期試験</b>								
冬 休 み									
後 期	1月								
	2月								
	3月								
春 休 み									

教科	地理・歴史	科目	日本史A	授業 時数		週2時間		教材	高校日本史A進訂版 実教出版	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組選択										
	時期	項目			到達目標						
前期	4月	◆近代への転換			江戸幕府の成立から倒幕を通じ、封建制度とその崩壊、近代日本の成立を考察する。  新政府、中央集権国家の成立と大日本帝国の展開を知る。						
	5月	・幕藩体制の成立									
	6月	・幕府の改革と衰退 ・開国、尊皇攘夷から開国									
	7月	◆大日本帝国の形成 ・地租改正、富国強兵 ・大日本帝国憲法の制定 <b>第1回定期試験</b>									
夏 休 み											
前期	9月	◆大日本帝国の展開 ・朝鮮政策、日清戦争			日本の朝鮮・台湾侵略と日清戦争後の日本・中国・朝鮮の関係を考える。						
後期	10月	・日露戦争			日露戦争前後の日本人の戦争に対する考えの変化と日本の民本主義・大正デモクラシーの発生を知る。  軍国主義にすすむ日本が国際社会に与えた影響と二度の世界大戦を経て、国際社会の新たな平和への取り組みと日本の改革を知る。						
	11月	・大正デモクラシー									
	12月	・第二次世界大戦、太平洋戦争 ・戦後世界と日本 <b>第2回定期試験</b>									
冬 休 み											
後期	1月				*戦争時の人的災害と自然災害時の防災対策を 考える。						
	2月										
	3月										
春 休 み											

教科	公民	科目	政治・経済	授業 時数		週2時間		教材	高等学校 新政治・経済 第一学習社	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程3年選択										
	時期	項目		到達目標							
前期	4月	<b>第2編 現代の経済</b> 第1章 現代経済のしくみと性質 教科書p.64～p.109		<p>① 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて理解し、現実社会の諸事象を通して多面的・多角的に考察させ、自らの意見を表現する力を養う。尚、日本経済の発展の単元で「阪神淡路大震災」を取り上げ、防災教育と結びつける。</p> <p>② ①については、教科書だけでなく教員が用意した資料や生徒が所有するタブレット端末等も使い、グループワークを通じて様々な理論に触れるような授業で身に付けさせるよう留意する。</p> <p>③ 定期試験については、3つの観点に沿った問題を通して、現代日本の経済に関する知識が身に付いているかを確認めるとともに、資料を読み取る技能や経済に関する事象の説明を文章にて表現できる力が身に付いているかを測る。</p>							
	5月										
	6月										
	7月	<b>第1回定期試験</b>									
夏休み		自宅学習		各自、自宅にて学習に取り組む。							
前期	9月	<b>第2編 現代の経済</b> 第2章 国民経済と国際経済 教科書p.110～p.123		<p>④ 貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解し、現実社会の諸事象を通して多面的・多角的に考察させ、自らの意見を表現する力を養う。</p> <p>⑤ ④については、②のように留意する。</p>							
後期	10月	<b>第1編 現代の政治</b> 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 教科書p.4～p.47		<p>⑥ 政治と法の意義と機能、基本的人権の尊重と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治について理解し、現実社会の諸事象を通して多面的・多角的に考察させ、自らの意見を表現する力を養う。</p> <p>⑦ ⑥については、②のように留意する。</p> <p>⑧ 定期試験については、3つの観点に沿った問題を通して、国際経済及び現代日本の政治に関する知識が身に付いているかを確認めるとともに、資料を読み取る技能や国際経済及び現代日本の政治に関する事象の説明を文章にて表現できる力が身に付いているかを測る。</p>							
	11月										
	12月	<b>第2回定期試験</b>									
冬休み		自宅学習		各自、進路状況に合わせて自宅学習に取り組む。							
後期	1月	自宅学習		各自、自分の目標に合わせた学習、問題演習を行う。							
	2月										
	3月										
春休み											



教科	数学	科目	数学Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	東京書籍 数学Ⅱ Standard	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程3年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4・5・6・7月	第3章 三角関数 第1節 三角関数  第2節 加法定理  第1回定期試験			角を一般角に拡張し、三角関数の性質を理解させ、グラフをかけるようにする。  加法定理を理解させ、三角方程式を解けるようにする。				
夏休み									
前期	9月	第5章 微分と積分 第1節 微分係数と導関数			微分係数から導関数に発展させ計算ができるようにする。				
後期	10・11・12月	第2節 導関数の応用  第3節 積分  第2回定期試験			関数の増減から極大・極小、および最大・最小を調べ関数のグラフをかけるようにする。  不定積分の定義を理解して、計算ができるようにする。定積分の性質や公式を理解して計算ができるようにする。平面図形の面積を定積分を用いて求めることができることを理解させ、面積を求められるようにする。  防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。				
冬休み									
後期		第3回定期試験							
春休み									

教科	数学	科目	数学B	授業 時数	週2時間	教材	東京書籍 数学B Standard	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程3年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4・5・6・7月	第1章 数列 第1節 数列  第2節 いろいろな数列  第3節 漸化式と数学的帰納法  第1回定期試験	<p>数列の概念の導入後、等差数列と等比数列について理解させる。</p> <p><math>\Sigma</math>の使い方、自然数の平方の和、階差数列、いろいろな数列の第n項の和などを理解させる。</p> <p>漸化式の意味を理解し、漸化式で定義される数列の一般項を求められるようにし、数列の和を例として数学的帰納法を学ぶ。</p>						
夏 休 み									
前期	9月	第2章 ベクトル 第1節 平面上のベクトル	<p>ベクトルを定義し、ベクトルの計算法則を理解させる。ベクトルの成分表示を定義し、基本演算の成分表示が出来るようにする。ベクトルの内積を定義し、内積の成分表示、内積の計算法則を理解させる。</p>						
後期	10・11・12月	第2節 ベクトルの応用  第3節 空間におけるベクトル  第2回定期試験	<p>位置ベクトルを定義し、内分点・外分点・三角形の重心・垂心の位置ベクトルを理解させ媒介変数表示とベクトル方程式を理解させる。</p> <p>空間特有の概念について説明し、座標軸を定めて、2点間の距離が座標を用いて求まることを理解させる。空間ベクトルも有向線分として定義し、平面上と同じような計算法則が成り立つことを理解させる。内積を定義し、ベクトルのなす角が成分より求まることを理解させる。空間においても位置ベクトルが定義できることを説明し、直線上と平面上の点の位置ベクトルを求めさせる。</p> <p>防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。</p>						
冬 休 み									
後期		第3回定期試験							
春 休 み									

教科	理科	科目	化学	授業 時数	週4時間	教材	新版 化学 新訂版 (実教出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組(理系)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	<b>1章 物質の状態と平衡</b> 1節 状態変化 2節 気体の性質			物理基礎での学習の確認をする。 気体の状態方程式を学ぶ。				
	5月	3節 固体の構造 4節 溶液			結晶, 非晶質について学ぶ。 溶解という現象と希薄溶液の性質を学ぶ。				
	6月	<b>2章 物質の変化と平衡</b> 1節 化学反応と熱・光エネルギー 3節 反応の速さとしくみ 4節 化学平衡			化学反応と熱エネルギー, エネルギーの変換と保存について学ぶ。 反応速度を変える条件, 反応のしくみについて学ぶ。 可逆反応と化学平衡, 平衡の移動, 電離平衡について学ぶ。				
	7月	第1回定期試験							
	夏休み								
前期	9月	<b>3章 無機物質</b> 2節 非金属元素 3節 金属元素 2章2節 電池と電気分解(防災教育)			非金属元素とその化合物について学ぶ。 金属元素とその化合物について学ぶ。 ファラデーの法則について学び, 災害時に必要な電力確保との関連を考察する。				
	10月	<b>4章 有機化合物</b> 1節 有機化合物の特徴と分類			有機化合物の特徴と分類, 構造式の決定について学ぶ。				
後期	11月	2節 脂肪族炭化水素 3節 酸素を含む脂肪族化合物 4節 芳香族化合物			飽和炭化水素, 不飽和炭化水素について学ぶ。 アルコールとエーテル, アルデヒドとケトン, カルボン酸とエステルについて学ぶ。 芳香族炭化水素, 酸素を含む芳香族化合物, 窒素を含む芳香族化合物について学ぶ。				
	12月	第2回定期試験							
	冬休み								
後期									
春休み									

教科	理科	科目	生物	授業 時数	週4時間	教材	生物 改訂版 (啓林館)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組(理系)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	<b>第1部 生命現象と物質</b> 第1章 生命と物質			細胞内にある器官の名称や役割を学び、生命活動との繋がりを理解する。				
	5月	第2章 代謝			生体内におけるエネルギーの生成を学び、それに伴う化学反応を覚える。				
	6月	第3章 遺伝現象と物質			DNAの複製、RNAの転写から遺伝情報の伝達について学ぶ。				
	7月	第2部 生殖と発生 第1章 有性生殖と染色体の分配 <b>第1回定期試験</b>			メンデルの遺伝の法則を利用し、染色体の分配と遺伝子について学ぶ。				
夏 休 み									
前期	9月	第2章 動物の生殖と発生			動物の発生の過程を学び、各部組織の名称を覚える。				
		第3章 植物の生殖と発生			植物の発生の過程を学び、各部組織の名称を覚える。				
後期	10月	<b>第3部 生物の環境応答</b> 第1章 刺激の受容と反応			各受容体と対応した刺激を学び、それらと関わる神経を学習する。災害時における受容体とその反応から防災に関する教育を行う。				
	11月	第2章 動物の行動			ヒト以外の動物における特定の行動について学ぶ。				
	12月	第3章 植物の環境応答 <b>第2回定期試験</b>			各環境におけるホルモン受容とその応答について学ぶ。				
冬 休 み									
後 期									
春 休 み									

教科	保健体育	科目	武道(剣道)	授業 時数	週1時間	教材	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年(選択)							
	時期	項目			到達目標			
前期	4月・5月	《ガイドンス》 2年次の授業内容・学習のねらい			武道の特性である礼に始まり礼に終わるなどから礼儀正しくお互いに相手を尊重する心を養う。着装、防具のつけ方に留意して身だしなみに気をつける。			
	6月	切り返し 基本打ち…面・小手・胴 小手面・小手胴二段打ち 小手面胴三段打ち			動きの中から正しい姿勢、正しい打ちを身につける。 打突前の集中力と打突後の残心を徹底させる。 正しい姿勢で全身を使って打ち切る。			
	7月	試験			小手面・小手面胴三段打ち			
夏 休 み								
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 木刀による剣道基本技稽古法…基本1・2・3			安全な経路の確認、自助について学ぶ 基本稽古法で礼法・姿勢・間合い・理合い・呼吸を学ばせる。 元立ちと掛手の意味、役割を理解させる。 仕掛け技を覚える。			
	10月 11月 12月	基本4・5・6  試験			引き技・抜き技・擦り上げ技を正しく覚える。  基本1・2・3・4・5・6			
冬 休 み								
後期	1月	基本7・8・9			出ばな技・返し技・打ち落とし技を正しく覚える。			
	2月 3月	試験			木刀による剣道基本稽古法… 基本1～9			
春 休 み								

教科	保健体育	科目	武道(柔道)	授業 時数	週1時間	教材	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年(選択)							
時期		項目			到達目標			
前期	4月	学習のねらい 柔道の歴史			「精神善用・自他協栄」という柔道の精神を学び、その意義を日常生活に生かす態度を養う。基本動作を確実に身につけ、さらに発展させ個々に応じて対人的、技能を図る。また、禁じ技を用いないなどの禁止事項を守り、安全に留意する態度を養う。全て安全最優先で行う。			
	5月	投げ技→背負い投げ(一本背負い投げ)を含む・大外刈り・足技			投げ込みの練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。			
	6月	約束練習			取は動きながら技に入るタイミングや安全に留意して投げ込みを行う。			
	7月	試験			送足払い・大外刈り 相手に配慮する投げ方・受身の取り方・を評価する。			
夏 休 み								
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 投げ技(大内刈り) 背負い投げ・体落とし・大外刈り 復習・応用 自由練習の復習、確認			安全な経路の確認、自助について学ぶ 崩しの原理をしっかりと理解して行う。 投げ込みの練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。			
	10月	投げ技一連絡技 大内刈り→背負い投げ 大内刈り→体落とし			崩しの原理をしっかりと理解して行い、安全に留意して投げる。			
後期	11月	自由練習の復習、応用 試験			自由練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。 大内刈り→背負い投げ相手に配慮をする投げ方、受け方・連絡のタイミングを評価する。			
	12月	投げ技一連絡技 大内刈り→背負い投げ 大内刈り→体落とし			崩しの原理をしっかりと理解して行い、安全に留意して投げる。 連絡技へのタイミングを覚える。			
冬 休 み								
後期	1月	自由練習(乱取り) 寝技 立技			初めは約束稽古を行い少しずつ強度を上げて行えるようにする。(受け身は正確にする)安全最優先で行わせる。			
	2月	ルールについて 一年間の復習・応用			ルールと禁止技を理解する。			
	3月	試験			授業で習った技の中から技を指定して相手に配慮をする。投げ方・受身の取り方を評価する。			
春 休 み								

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	MOUSA 2 (教育芸術社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程3年1組								
時期	項目				到達目標				
前期	歌唱「ハナミズキ」 歌唱「糸」 歌唱「浜辺の歌」 リズム唱Ⅰ「4分音符のファミリー その1」 リズム唱Ⅱ「4分音符のファミリー その2」 W.A.モーツァルトの生涯と作品 鑑賞「アマデウス」 鑑賞「トッカータとフーガ」 <b>実技試験</b> <b>筆記試験</b>				歌詞に込められた思いを伝えるように歌唱する。 フレーズの特徴を生かし、表現を工夫して歌唱する。 リズムらしさを会得する。 作曲家の生涯をたどりながら音楽を味わう。 パイプオルガンの構造を理解した上で、響きを味わう。				
後期	歌唱「涙そうそう」 歌唱「夢やぶれて」 歌唱「虹」 鑑賞「白鳥の湖」 鑑賞「春の祭典」 災害時における音のはたらき <b>実技試験</b> <b>筆記試験</b>				曲の雰囲気にあうように歌い方を工夫して歌唱する。 曲想の変化を感じ取り、豊かな表現で歌唱する。 伴奏との関わりを感じながら歌唱する。 劇中の音楽の特徴を捉えながら、バレエ音楽を味わう。 前衛的な音楽と踊りの関わりと表現を味わう。 防災と音の関わりについて学ぶ。				

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	授業 時数	週 2 時間	教材	2 東京書籍 書Ⅱ 305	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程3年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	書道Ⅰから書道Ⅱへ。姿勢と執筆法。 書道Ⅰで学んだ中国と日本の代表的な古典を鑑賞し、表現を学ぶ。臨書の復習。			芸術書道に親しむ。 書道Ⅰで習った内容を確認し、今後の書に生かす。執筆法、姿勢の確認。線の表情の認識。				
	5月	漢字・仮名の古典を鑑賞し、特徴を生かして漢字仮名交じりの書を書く。漢字と仮名を調和させた表現方法を理解する。			書の表現力をつかむ。 古典作品の特徴をつかむことで表現力の幅を広げる。 筆法、道具による表現方法の違いを理解する。				
	6月	字の変遷の復習。楷書・行書の臨書。表現と鑑賞。書道Ⅰとは異なる独特の字形を理解する。			それぞれの古典の持つ特徴の理解。筆法・字形・筆順を理解する。				
	7月	草書の臨書。表現と鑑賞。筆順の違いや字形の省略などから特徴を捉える。			時代背景・特徴をとらえ、様々な表現力を養う。				
夏休み		鑑賞。			日常の中での様々な書体を知る。				
前期	9月	隷書・篆書の臨書。表現と鑑賞。時代背景を学び、字形の特徴をとらえる。 防災についての内容を扱う。			それぞれの古典の持つ特徴の理解。				
後期	10月	仮名の書。連綿の書き方。古典の鑑賞。表現と鑑賞。			日本独自の書体・書法を鑑賞し、体験的に学習することで表現方法を理解する。				
	11月	篆刻(名前印)の制作。			名前の文字の篆書体を学ぶ。文字表記の起源を理解する。				
	12月	漢字仮名交じりの書。創作活動。			書道Ⅰ、Ⅱで学んだ表現の特徴を自分の作品に生かす。用具用材による表現の違いをとらえる。				
冬休み									
後期	1月 2月 3月								
春休み									



教科	芸術	科目	美術Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	美術2(光村図書)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組選択D								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	ロゴ・フォントを学ぶ			・日常生活における観察力の向上。				
	5月	モノクロの表現(自画像をテーマに)			・平面表現の基本となる白黒による表現を体得する。 ・自画像を通して自己を見つめ直し、また他者と認め合う。				
	6月 7月	プロダクトの装飾デザイン(螺鈿蒔絵風)			・身近に使う物の装飾を自らデザインすることでその効果を体感する。				
夏 休 み									
前期	9月	防災ポスター制作			・自身の防災意識を高め、他者への発信、伝達を達成する。				
後 期	10月	木彫を学ぶ			・素材の特性を理解し表現に生かすことができる。 ・色彩理論の理解				
	11月	スケッチを学ぶ			・身体(目、手、脳等)を使って平面上にイメージを表現することでスケッチ力、観察力を養う。				
	12月								
冬 休 み									
後 期	1月								
	2月								
	3月								
		<b>〈使用画材・教材〉</b> 画用紙・鉛筆・消しゴム・マーカー・接着剤・アクリル絵具・筆・カッター・木材・やすり 等							
		定時制 1組 選択D							

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	授業 時数	週 4 時間	教材	All Aboard! English Communication III	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程3年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson1 Mystery circles under the sea 言語材料:【動詞の現在形と過去形】			生き物について、写真を示しながらその特徴を英語で述べる				
	5月	Lesson2 Gifts to Barcelona 言語材料:【現在完了形】			建築物について、その特徴をあげて英語で述べる				
	6月	Lesson3 Images on Coins 【不定詞・動名詞】			国を象徴するものについて例をあげて英語で述べる				
	7月	Lesson4 Witnesses of War 【受動態】  第一回定期試験 (Lesson 1~4)			自分の経験や考えについてまとまりのある英文を書く  英語検定、大学入試を見据えた対策問題を各レッスンに取り入れる。また、防災に関連付けた授業を行う。				
夏休み	7月	夏休みの課題			既習事項の復習				
	8月								
前期	9月	Lesson5 Love Letters 【関係代名詞】			思いを伝えるメールや手紙を英語で書く				
後期	10月	Lesson6 The Natural Treasures of Ogasawara 【仮定法過去】			自然環境との共生について意見を論理的に述べる				
	11月	Lesson7 The Terracotta Warriies 【関係代名詞(非制限用法)】			史跡について、まとまりのある文章を英語で書く				
	12月	Lesson8 The Journey of Our Clothes 【後置修飾の分詞】  第二回定期試験 (Lesson 5~8)			社会問題についての意見を論理的に英語で述べる  大学入試を見据えた対策問題を各レッスンに取り入れる。また、防災に関連付けた授業を行う。				
冬休み	12月								
	1月								
後期	1月								
	2月								
	3月								
春休み	3月								
備考									

教科	英語	科目	英語演習	授業 時数	週 2 時間	教材	All Aboard! English Communication III プリント教材	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程3年1組								
		項目			到達目標				
前期	4月	Lesson1 動詞の現在形と過去形			be動詞、一般動詞の現在と過去形の使い方を習得する				
		Lesson2 現在完了形			現在完了形を使い、自分の経験等を伝える				
	5月	Lesson3 不定詞・動名詞			不定詞・動名詞を使いこなす				
		Lesson4 受動態			受動態・能動態を理解して使う				
	6月	Lesson5 関係代名詞			関係代名詞を正しく理解して使う				
	7月	ここまでの復習と発展問題							
		第一回定期試験 (Lesson 1～5)			英語検定、大学入試を見据えた対策問題を各レッスンに取り入れる。また、防災に関連付けた授業を行う。				
夏休み	7月								
	8月	夏休みの課題			既習事項の復習				
前期	9月	Lesson6 仮定法過去			仮定法を理解して様々な表現を習得する				
後期	10月	Lesson7 関係代名詞の非制限用法			関係代名詞の非制限用法を使いこなす				
		Lesson8 現在分詞・過去分詞・分詞構文			現在分詞・過去分詞を使い分ける				
	11月	Lesson9 比較表現			グラフや図表を用いた英文を読みこなす				
	12月	ここまでの復習と発展問題							
		第二回定期試験 (Lesson 6～9)			大学入試を見据えた対策問題や各種長文読解演習を取り入れる				
冬休み	12月								
	1月								
後期	1月								
	2月								
	3月								
春休み	3月								
備考									